

富大比較文学 第九集

富山大学比較文学会編集・刊行

2016

菊池寛『真珠夫人』における〈宿命の女〉——瑠璃子の人物造型を中心に——	荒屋 愛莉 (1)
太宰治「乞食学生」におけるフランソワ・ヴィヨンの影響	廣川 歩実 (19)
川端康成「古都」における西洋と日本——パウル・クレーを視座として——	松村 聡美 (42)
江戸川乱歩「幽霊塔」における時計塔——「時は金なり」のアイロニー——	浅岡 真衣 (67)
池澤夏樹「キップをなくして」論——死と向き合う時空——	下出 茉波 (84)
検閲を掻い潜る漱石——「それから」「門」を中心に——	山下 瑞葵 (101)
「八つ墓村」に見る都会と地方——横溝正史の田舎観を中心に——	石坂実夏子 (121)
ロボットの表象——文学作品に登場するロボットへ与えられる性別について——	岩本侑一郎 (143)
日本近代文学に見る心中	谷 香菜子 (156)
森見登美彦『夜は短し歩けよ乙女』における先行文学作品受容	宮澤 菜那 (172)
ラフカディオ・ハーンにおける日本語の音——日本語の響きと出雲方言——	三島 佳音 (234)

Ⅱ 編集後記Ⅱ

富山大学比較文学学会会則

『富大比較文学』第九号には、比較文化分野二〇一五年度卒業生の荒屋愛莉さん、廣川歩実さん、松村聡美さん、二〇一六年度卒業生の浅岡真衣さん、下出菜波さん、三島佳音さん、山下瑞葵さん、

日本文学分野二〇一六年度卒業生の石坂実夏子さん、岩本侑一郎さん、谷香菜子さん、宮澤菜那さんの論文を掲載することに編集委員会で決定しました。寄稿して下さった皆さんに感謝申し上げます。

比較文化分野を中心として続いてきた本誌ですが、二〇一四年度の金子幸代先生のご退職と分野の廃止に伴い、今号で最終号となりました。そうした事情から今号では二年・二分野にまたがる卒業生の論文を掲載する運びとなりましたが、荒削りながらも力作の論文が集まり、充実した号となったと思います。金子先生の築いて来られた教育研究環境と、長年のご指導の賜物かと思っています。

金子先生が担当してこられた教育研究は、今後実質的には日本文学分野で引き継いで行かせて頂くこととなりましたが、新任の私も、金子先生のご学恩を様々な面で実感する日々です。『富大比較文学』第九集が研究領域の垣根を越えて研究面での繋がりを広げ、深める一助になることを願ってやみません。今後の発展に向けて、さらに精進していきたいと存じますので、ご意見、ご批評をお寄せいただきますれば幸いです。

(小谷 瑛輔)

第一条 この会は富山大学比較文学会と称し、事務所を富山大学人文

学部比較文学・比較文化研究室(富山県富山市五福三一九〇)に置く。

第二条 この会は会員相互の協力により、比較文学・比較文化研究を進めることを目的とする。

第三条 この会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 研究発表会、公開講演会などの開催。
- 2 機関誌、会報などの刊行
- 3 その他、会の目的を達成するために必要と認められる事項。

第四条 この会の設立の趣旨に賛同する富山大学比較文学・比較文化の教員および在学生、院生、卒業生、修了生をもつて会員とする。その他、この会の設立の趣旨に賛同するものをもつて会員とする。

第五条 前条の会員は一般会員および維持会員をもつて組織する。

富大比較文学 第九集

二〇一七年三月十日発行

編集人 富山大学比較文学会編集委員会

発行人 富山大学比較文学会

代表 金子幸代

発行所 富山大学文学部比較文学・比較文化研究室

富山県富山市五福三一九〇

〇七六―四四五―六二〇〇(小谷研究室)

